

人や動物のからだ -呼吸

次の（ ）にあてはまることばを書きなさい。

1. 石灰水せっかいすいの入ったポリエチレンのふくろに息をふきこむと、石灰水は（ ）。
2. 人は吸う空気すよりはいた空気いたのほうが（ ）の量が多い。また、吸う空気すよりはいた空気いたのほうが（ ）の量が少ない。
3. 人は（ ）によって、（ ）をからだのなかにとり入れ（ ）をからだの外に出している。
4. 吸う空気すよりはいた空気いたのほうが水分は（ ）。
5. 口から吸った空気は（ ）という管を通して（ ）に行く。
6. 肺はいの中では気管が枝分かれして（ ）となって左右の肺につながっていて、それがさらにこまかく枝分かれして先が小さなふくろになっている、このふくろを（ ）という。
7. 肺ほうのまわりには、（ ）という細い血管けっかんがあみのようにとりまいている。
8. 吸った空気の中の（ ）の一部は肺ほうのまわりの毛細血管中の（ ）にとり入れられる。逆に血液の中にとけていた（ ）が肺ほうの中に出される。
9. 酸素が減り、二酸化炭素がふえた空気は、肺ほう→（ ）→（ ）を通過して、鼻や口からはき出される。
10. 魚は（ ）で呼吸する、
11. イルカ、クジラは（ ）で呼吸する。

人や動物のからだ 解答

12. 石灰水せっかいすいの入ったポリエチレンのふくろに息をふきこむと、石灰水は（ 白くにごる ）。
13. 人は吸う空気すよりはいた空気すのほうが（ 二酸化炭素 ）の量が多い。
また、吸う空気よりはいた空気すのほうが（ 酸素 ）の量が少ない。
14. 人は（ 呼吸こきゅう ）によって、（ 酸素 ）をからだのなかにとり入れ（ 二酸化炭素 ）をからだの外に出している。
15. 吸う空気よりはいた空気すのほうが水分は（ 多い ）。
16. 口から吸った空気は（ 気管きかん ）という管を通して（ 肺はい ）に行く。
17. 肺はいの中では気管が枝分かれして（ 気管支きかんし ）となって左右の肺につな
がっていて、それがさらにこまかく枝分かれして先が小さなふくろにな
っている、このふくろを（ 肺ほう ）という。
18. 肺ほうのまわりには、（ 毛細血管もうさいけっかん ）という細い血管けっかんがあみのようにと
りまいている。
19. 吸った空気の中の（ 酸素 ）の一部は肺ほうのまわりの毛細血管中の
（ 血液 ）にとり入れられる。逆に血液の中にとけていた（ 二酸化
炭素 ）が肺ほうの中に出される。
20. 酸素が減り、二酸化炭素がふえた空気は、肺ほう→（ 気管支 ）→（ 気
管 ）を通して、鼻や口からはき出される。
21. 魚は（ えら ）で呼吸する、
22. イルカ、クジラは（ 肺 ）で呼吸する。